福祉生活常任委

介護は郊外から町中へ

福祉分野に集中して調査

県議会福祉生活病院常任委員会は７月11日から、金沢市、加賀市、富山市を訪れ、県外調査をしました。私は副委員長として、介護、障がい者の自立、子育てをテーマに立案しましたが、たくさんのことを勉強できたと思っています。

11日は鳥取、米子の両空港に分かれて午前７時５分に出発。羽田空港で合流して、まず、石川県庁を訪問。担当者から子育て応援ファンド、子育て応援エンゼルプランの説明を聞いた後、加賀市へ向かいました。加賀市は地域包括ケアの先進地。郊外型の大規模老人施設ではなく、少人数の施設を生活圏域の中で整備するように介護の方針を大きく転換したことで有名です。

今、鳥取県は第５次介護保険事業支援計画を策定中ですが、私は危機感を募らせています。というのも人口推計で、２０２５年に高齢者人口は17万９千人とピークを迎え、人口の３分の１が高齢者になると予想されています。今から、しっかりと準備をしておかないと、財政は破綻し、介護難民を生んでしまうからです。加賀市の方針転換は、その解決策の一つになるのではないかと期待して訪問先に組み込んだのです。

加賀市では三谷地区にあった百床の特養を３か所に分散するなど特養のサテライト化を進めています。加賀市の担当課長は「特養は整備すればするだけ、入所希望者を生み、入所待機者を増やすだけ」と断言されたのには驚きました。「小規模施設は高齢者が要介護状態になっても、地域や家族と離れずに暮らすことができる。施設側の要望ではなく、お年寄りの笑顔のための介護サービスを求めて行きたい」とも話されました。この後、ニーズ対応型小規模多機能ホーム「ききょうが丘」を訪れ、現場で働く皆さんの声もしっかり聞かせていただきました。

２日目は富山市を訪れました。富山県庁で説明を聞いた後、障がい者の自立を目指す社会福祉法人「フォーレスト八尾会」の３か所の施設を見学。さらには、わかさく保育園を訪れ、未就園児の親子を支援するマイ保育園事業に取り組んでいる園長さんたちから話を聞かせていただきました。県庁で聞いた話と現場で聞かせていただいた話には、かなりのギャップがあり、やはり、現場で当事者にお会いすることの大切さを改めて感じました。

翌朝、羽田に飛び、ここで鳥取、米子に分かれて委員の皆さんは帰路に着いたのですが、私は３日間東京に滞在し、厚生労働省、国土交通省、総務省のほか、玩具福祉学会の研究集会、企業や大学などを駆け足で回ってきました。この政務調査はかなりの成果がありました。９月定例議会の一般質問などで十分に生かして参ります。

石川県庁では、子育て支援策について担当者と熱く議論を交わしました

加賀市で訪れた小規模多機能ホーム「ききょうが丘」は元木材会社の社長宅を改装したもので、凝った意匠が印象的でした

フォーレスト八尾会の就労継続支援作業所「おわらの里」では観光土産品づくりに取り組んでおられました

工房「風のたより」は八尾スイーツのお店。障がいを持った方が縫った服や紙工芸品が店内に並びます

編集後記

この「りれーしょん」がお手元に届く頃には、鳥取市庁舎の新築移転を住民投票で決めようという直接請求の結論が出ていると思います。５万人の有権者の思いを市議会がどう受け止めるのか、鳥取のデモクラシーが問われています。

東京での官庁企業回りなどに政務調査費を使わせていただきました。税金ですから最少額で最大の効果になるよう大切に使います。

９月定例会は９月15日から10月12日までの28日間です。本会議や委員会で取り上げますので、どうぞ、県政へのご意見、ご批判をお聞かせください。

砂場隆浩県政広場
砂場隆浩応援団／鳥取こども会議
所在地：鳥取市片原１丁目107
TEL:0857-50-0130／FAX:0857-50-0641
http://www.tottori-kodomo@jp
E-mail:tottori-kodomo@olive.plala.or.jp

個人献金でクリーンな政治を目指しています。
所得控除の対象にもなりますので、ご協力をお願いします。
口座名義：鳥取こども会議
鳥取銀行本店営業部（普）０２２０４９１
みずほ銀行鳥取支店（普）１６９６８３１